

## 平成 27 年度第7回経営会議概要

- 1 開催日時:平成 27 年 11 月6日(金)9:00～9:20
- 2 開催場所:秘書課プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要:以下のとおり  
(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

### 議題1 みえ県民カビジョン・第二次行動計画(仮称)最終案について

#### ●安井課長【企画課】(資料1に基づき説明)

第二次行動計画の中間案からの主な変更箇所について、4 ページからの「第一次行動計画を振り返って」で、前回の経営会議の意見や県政に関わる大きな動きを踏まえた時点修正、項目の順序の変更を行った。順序について、中間案では4年間の成果と課題に着目し、比較的県民に成果が届いたと思われるものから今後の課題というものに繋がっていくよう並べた。

最終案に向けた二役との協議の中で、改めて検討し、今回、次の4年間の課題というものにより着目して、順番を並べ替え、一番最初に喫緊に直面する最重要課題ということで「伊勢志摩サミット」、次に「人口減少への対応」と自然減対策として柱となる「少子化対策」を記載した。それから教育施策大綱の策定を踏まえて「教育」、国体に向けて競技力の向上に取り組んでいくというステージとして「スポーツ」を挙げた。次に、4年間取り組んでまだ道半ばの課題で、「医療・介護・福祉」、「暮らしの安全・安心」、最後に、県民の皆さんに成果が届いた分野として整理した。なお、中間案から変更した箇所には、下線を引いている。

12 ページから、前回の経営会議での議論を踏まえ、「施策及び選択・集中プログラムの達成状況」を示しているが、「施策」については道半ばの取組を追加し、「選択・集中プログラム」については、一定の課題の解決にはつながっているという中で、予算や人材の柔軟な重点配分を図ることが難しいといった課題について記載した。

18 ページでは、新しい豊かさの記述の中で、常任委員会の意見を踏まえ、四日市公害に関連して、産業活動と環境保全の両立と共に精神的なものも含めた生活の豊かさを求める声が高まる契機となったという記述を入れた。また、伊勢志摩国立公園の70周年、それからサミットの開催を踏まえ、豊かさに関連することからその記述を追加した。

次に、第2編の政策体系では、29ページの「数値目標」の部分と「重点取組」の部分で記載を加えた。42 ページからの施策の部分では、中間案以降、パブリックコメント、議会での議論、あるいは平成28年度予算の検討、数値目標の検討などを踏まえて、担当部局において、内容を精査し修正していただいた。43ページの県民指標の目標項目と県の活動指標の目標項目のところに示したが、

議会からの意見を踏まえ、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標（KPI）と同一の指標を「**創**」と表示した。最終案では現状値の把握が間に合わない指標については、例えば49ページの施策112のように、県民指標で現状値が「（調整中）」、目標値が「（検討中）」と示し、議案として提出するまでに確定する。この他、現時点で、各部と協議中の数値目標については、「（調整中）」というような記述にしており、11月13日の経営会議までに庁内合意をさせていただきたいと考えている。

214ページでは、「幸福実感指標」について、中間案では記述していなかったが、政策体系の変更やアンケート調査における課題を考慮し、継続性を重視しつつ、一部変更したので、改めて「幸福実感指標」について掲載した。

216ページでは、行財政改革取組について11月13日の推進本部会議での中間案の議論を踏まえて次回の会議では記述する。計画期間中の財政見直しについては、2月に提示をするということで、議案の段階で記述する。

最終案については、11月24日の全員協議会で説明する予定であり、その後、議会での議論、時点修正も踏まえ、2月に議案として提出する。最終案以降も必要な修正等を行っていくため、よろしく願いたい。

また、別途配布の数値目標一覧について、本日はサンプルとして示した。県民により分かりやすく示したいと考えており、最終案の別冊資料として、議会に提出する。

#### <質疑>

☆伊藤健康福祉部長

8ページの「（医療・介護・福祉）」で、障がい福祉の記述が弱いので、記述を入れることはできるか。

●安井課長【企画課】

内容にもよるが、後ほど、詳細について聞かせていただき、調整したい。

☆福田地域連携部長

第一次行動計画の中で、サミットや、人口減少の大きな政策課題を取り上げており、その後は教育とかスポーツとか、施策の範囲ぐらいで少し切り分けが小さくなっている。総合計画的なものを考えるときに、県と市町とか、地域と県との関わり方について、今回の振り返りの中にないので、何か触れておくべきではないか。ここで触れるかどうかは別にして、記載を検討してはどうか。

●安井課長【企画課】

基本的なことについては、県民力ビジョンに記述している市町との関係は大きくは変わらない前提の中、この4年間を振り返ってということで触れる必要があると思う。具体的な記述については地域連携部と協議をさせていただく。

☆西城みえ伊勢志摩サミット推進局長

今回、目標値が示されているが、目標値の設定にあたって、財政見通しとの関係は整理されているか。過去の計画では、翌年度予算の7掛けというように、内々で踏まえて設定してきたが、今回はそういうことは特に意識していないのか。

●安井課長【企画課】

予算連動型の数値目標については、しっかりと検討しており、その予算の見通しも踏まえた議論も行っているので、十分ではないかもしれないが、引き続き確認していきたい。

●竹内戦略企画部長

10日に、行動計画について議会から総論部分と各論部分の申し入れがある。それを踏まえた議論を行うため、最終案以後、施策の修正等が必要かと思うので、引き続きよろしく願いしたい。